

アサザ	<i>Nymphoides peltata</i> (S.G.Gmel.) Kuntze	絶滅危惧 I 類
(環境省:準絶滅危惧)		ミツガシワ科
選定理由	生育地が局限されているうえ、個体数が極めて少ない。	写真(岐阜県博物館) 標本
形態の特徴	浮葉を形成する水生植物。葉は円形から卵形で基部は深い心形、長さ5-10cm、幅4-8cm。花冠は黄色、深く5裂し、裂片の縁に毛がある。雄蕊は5本、花糸は短く、花冠の基部につく。	
生態的特徴	湖沼、溜池、水田などに生育する。花期は7-9月。	
分布状況	ユーラシアに分布し、日本では北海道から九州まで分布する。岐阜県では県南の南部に見られる。	
減少要因	生育地の開発による埋め立て、水質の悪化。	
保全対策	生育地の保全及び水質の改善。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘